

## 9 消防費 1 消防費 1 常備消防費

### ① 組合消防費（環境政策課）

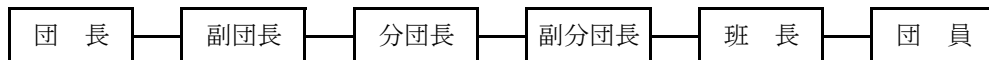
乙訓消防組合に対し、分担金を執行した。

## 9 消防費 1 消防費 2 非常備消防費

### ① 消防団活動費（環境政策課）

消防団は、郷土愛護の精神に基づき、あらゆる災害に対処するため、消防団長以下全消防団員が一致団結し、向日市及び乙訓消防組合向日消防署とともに協調を図りつつ、日夜防火防災活動に、また、各種訓練に鋭意努力し、市民生活の安心と安全確保に努めている。

#### 1 組織



物集女、寺戸、森本、鶏冠井、上植野及び向日の各町に分団を置き、各分団は、分団長1人、副分団長1人及び班長3人の幹部並びに20数人の団員により編成され、それぞれ消防ポンプ自動車1台、可搬式小型動力ポンプ1台を配置している。

#### 2 定員と現在員

条例定員 150人 現在員 150人

#### 3 年報酬と費用弁償

( 年 報 酬 )

区 分	金 額
団 長	214,000 円
副 団 長	170,000 円
分 団 長	100,000 円
副 分 団 長	74,000 円
班 長	60,000 円
団 員	52,000 円

( 費 用 弁 償 )

区 分	金 額
災 害 出 動	3,000 円
警 戒 出 動	2,000 円
訓 練 出 動	2,500 円
賄 費	1,000 円

#### 4 表 彰

(1) 京都府知事表彰	(功労章)	岡田 武 さん
	(精励章)	井上 泰成 さん
	(精励章)	藤田 貴弘 さん
(2) 日本消防協会会長表彰	(精績章)	森山 佳之 さん
(3) 京都府消防協会会長表彰	(功績章)	野村 和久 さん
	(精績章)	正木 孝昌 さん
	(精勤章)	木村 俊彦 さん
	(精勤章)	五十棲 久輝 さん

#### 5 研 修

京都府立消防学校へ団員を派遣し、次の教育を受講した。

- 消防団員特別教育操法指導科（第15期）（1日）6人
- 消防団員幹部教育中級幹部科（第3期・南部）（1日）2人
- 消防庁主催「消防団員救助資機材取扱い講習」（1日）12人

## 6 訓練・教育

### (1) 訓練

#### ア 幹部団員及び初級団員訓練

平成22年4月18日（日）に、向日市役所前駐車場において、幹部団員及び初級団員訓練を実施し、幹部団員及び新入団員等に対して消防団活動に必要な規範訓練等を行った。

#### イ 第21回京都府消防操法大会

平成22年8月1日（日）に、丹波自然運動公園において開催された第21回京都府消防操法大会に、各分団から選抜された選手6人が出場し、約3か月の訓練の成果を発揮した。

#### ウ 二市一町総合消防訓練（署・団合同訓練）

平成23年3月6日（日）に、日立マクセル株式会社において、乙訓二市一町総合消防訓練が実施され、正副団長、団員7人の計10人が参加し、消防署と消防団の連携を強めた。

### (2) 団員教養

平成22年6月6日（日）に、向日町競輪場において出火想定訓練を実施し、向日市消防団の災害対応能力向上を図った。

## 7 装備の点検整備等

### (1) 消防自動車の法定点検状況

整備項目	台数
定期車検整備台数	3台
定期点検整備台数	3台

### (2) 機械器具の点検整備

各分団に配備している機械器具について、随時点検整備を実施した。

各分団配備の機械器具

機械器具	個数	
小型動力ポンプ	6	
救 助 器 具	バール	36
	スコップ	36
	鋸	36
	ハンマー	36
	ツルハシ	36
	掛矢	36

### (3) 消防車両の更新

第3分団消防ポンプ車両の更新 1台

## ② 防火活動費（環境政策課）

消防行政に関する市民の声を的確に把握し、家庭における火災予防の普及徹底と防火思想の向上を図り、安全な地域づくりを目指すため、向日市女性防火推進員を置き、防火教室や救急講習を行い各種防火広報に努めた。

第9期女性防火推進員 29人

## 9 消防費 1 消防費 3 消防施設費

### ① 消防施設整備費（環境政策課）

#### 1 消防水利の整備状況

消防水利を常に良好な状態に保つために、乙訓消防組合向日消防署員による点検パトロールや水利標識等の交換を実施している。

#### 2 消防水利の状況

##### (1) 消火栓の状況

平成23年3月31日現在

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
基準	55	144	31	24	47	14	315
基準外	21	47	25	53	72	5	223
計	76	191	56	77	119	19	538

##### (2) 防火水槽の状況

平成23年3月31日現在

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
基準（有蓋） 40m <sup>3</sup> 以上	20	60	14	15	30	3	142
基準外（有蓋） 40m <sup>3</sup> 未満	2	3	1	3	0	0	9
計	22	63	15	18	30	3	151

##### (3) その他の水利の状況

平成23年3月31日現在

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
プール	2	4	1	0	1	1	9
池	4	5	0	0	0	1	10
その他	1	1	0	0	1	1	4
計	7	10	1	0	2	3	23

## 9 消防費 1 消防費 4 災害対策費

### ② 災害対策事業費（環境政策課）

#### 1 防災パトロール

梅雨期を迎えるにあたり、災害時に危険が予想される箇所の総点検を関係機関の協力を得て実施し、万全を期した。

本年度のパトロールは、市内の危険箇所と一時避難所を選定。防災パトロール終了後、今後の対策等について協議した。

(1) 実施日 平成22年5月25日（火） 午前9時25分～午前11時30分

(2) 点検箇所 物集女町北ノ口谷土石流危険箇所  
物集女町北ノ口公園急傾斜地  
寺田東防災公園（一時避難所）

(3) 出席者 市長以下32人

## 2 防災会議

- (1) 開催日 平成22年8月19日(木) 午後2時～午後2時40分
- (2) 開催場所 向日市役所 大会議室
- (3) 審議内容
  - ア 平成21年度 防災関連事業報告について
  - イ 平成22年度 防災関連事業計画(案)について
  - ウ 平成22年度 向日市地域防災計画(一般対策編、地震対策編及び資料編)の修正(案)について
  - エ 平成22年度 向日市消防・防災フェア実施計画(案)について  
アからエの審議内容について承認を得た。
- (4) 出席者 会長以下31人(防災会議委員19人、各対策部長7人、事務局5人)

## 3 防災対策

- (1) 平成21年度に改正した地域防災計画の一般対策編、地震対策編、資料編を一部修正した。
- (2) 自主防災組織の育成に努めた。 142組織
- (3) 災害時に必要な食料や生活必需品及び災害応急対策に必要な資機材を計画的に備蓄するため、向日市備蓄計画を作成し、災害用備蓄物資及び防災用資機材の整備に努めた。
- (4) 平成17年度から実施の南山急傾斜地崩壊対策事業を継続施工した。
- (5) 災害時要配慮者避難支援対策事業として、対象者に登録の案内を行うとともに、避難支援システムを導入した。
- (6) 南山地区が土砂災害警戒区域に指定されたため、「避難マニュアル」を作成し、説明会を実施した。
- (7) 地域で自主防災活動に取り組むにあたり、自主防災組織の役割や活動内容等をまとめた「自主防災組織の手引き」を作成し、区、自治会に配付した。

## 4 市民等啓発対策

- (1) 「防災とボランティア週間」の取組として、市役所ロビーにおいて阪神・淡路大震災の写真パネルや京都西南部活断層地図、淀川浸水想定地図、防災グッズ、備蓄物資等の展示(防災パネル展)を行った。  
また、防災マップ等の配布を行い、市民への啓発を行った。
- (2) 「広報むこう」等を活用し、市民への防災意識の高揚に努めた。
- (3) 防災教育として、「チャレンジ!防災48」などを活用した出前講座や新規採用職員研修を実施した。

## 5 向日市消防・防災フェア

「向日市消防・防災フェア」は、消防関係、自主防災組織、防災関係機関の参加協力のもとに、市民とのふれあいの場を通じて、防火、防災意識の高揚を図るとともに、初期消火訓練や防災機器等の展示などを含めた各種の催しを実施することにより、火災や災害の発生を防止することを目的として実施した。

- (1) 日 時 平成22年 9 月 4 日 (土) 午前 9 時30分から午前11時45分まで
- (2) 場 所 向日市立第6 向陽小学校
- (3) 主 催 向日市防災会議
- (4) 参加団体 乙訓消防組合消防本部、向日消防署、向日市消防団、向日市女性防火推進委員、乙訓防火・危険物安全協会、森本区自治防災会、森本地区浸水排除対策協議会、向日区自主防災会、西向日自主防災会、西日本電信電話(株)京都支店、関西電力(株)京都支店、樋口鉱泉(株)ほか
- (5) 内 容
- ア 消防コーナー
    - ・はしご車の展示
    - ・子どもレスキュー
  - イ 救急コーナー
    - ・救急車等の資器材の展示
  - ウ 消防団コーナー
    - ・親子放水体験
  - エ 消防防火相談・住宅防火コーナー
    - ・消防防火相談
    - ・住宅防火コーナー
  - オ 煙体験コーナー
  - カ 訓練コーナー
    - ・初期消火訓練
    - ・可搬式動力ポンプ消火訓練
    - ・市民参加型倒壊建物救出訓練
    - ・一斉放水訓練
  - キ 乙訓防火・危険物安全協会コーナー
  - ク 自主防災会コーナー
    - ・造水機による実演コーナー
    - ・非常食試食コーナー
    - ・要配慮者安否確認訓練
  - ケ 防災コーナー
    - ・防災展示コーナー
    - ・サバイバル体験コーナー
    - ・給水車展示コーナー
    - ・木造耐震診断申込コーナー
  - コ 子どもの遊びコーナー
  - サ 西日本電信電話(株)広報展示コーナー
  - シ 関西電力(株)広報展示コーナー
  - ス 樋口鉱泉(株)広報展示コーナー
- (6) 参加者 2,000人

## 6 災害記録

大雨洪水警報等により、災害警戒本部を設置し、防災体制に万全を期した。

警戒種別	設置日	設置時間	閉鎖時間	動員数	備考
警戒本部	5月24日(月)	午前6時36分	午後2時57分	13人	大雨警報
警戒本部	6月16日(水)	午前2時17分	午前3時27分	7人	大雨・洪水警報
警戒本部	7月14日(水)	午前9時0分	午後4時30分	12人	大雨・洪水 注意報
警戒本部	7月14日(水) ～15日(木)	午後11時4分	午前6時41分	10人	大雨(土砂災害)・ 洪水警報
警戒本部	7月16日(金)	午後4時42分	午後5時58分	14人	大雨(土砂災害、 浸水)・洪水警報
対策本部	8月12日(木)	午前3時3分	午後1時19分	40人	大雨(土砂災害、 浸水)・洪水警報

## 7 東日本大震災に係る支援

日時	対応
3月11日(金)	東北地方太平洋沖地震発生。事務局体制で対応
3月12日(土)	事務局体制による情報収集。義援金の受付(地域福祉課・環境政策課)
3月13日(日)	事務局体制による情報収集。被災地への支援物資として、保存水約3,000本を提供
3月14日(月)	東北地方太平洋沖地震に係る向日市災害支援対策本部を設置。被災地への支援を府と連携して対応することを決定
3月17日(木)	被災地への給水支援決定
3月28日(月)	市民からの第1次支援物資受付開始(～3月31日)。期間内に26人から缶詰349個、簡易スープ類1,118個、栄養調整食品223個、缶ジュース420本を受け付けた。

## 8 自主防災組織活動助成

- (1) 森本地区浸水排除対策協議会に対し、活動費を助成した。
- (2) 自主防火防災用器具設置事業

自主防災組織の育成強化を図るため、自治会等に対し、自主防火防災用器具設置事業補助規則に基づき、防火防災用具を設置する町内会等の自主防火防災組織に対して事業費の2分の1の補助金を交付した。

- ア 平成22年度中防災用器具設置町内数 3組織  
救助工具、水バケツ14個
- イ 平成22年度中消火器具設置補助町内会数 20組織
- (ア) 粉末消火器 95本  
(イ) 格納箱 48個
- ウ 平成22年度中消火器詰替補助町内会数 18組織
- (ア) 泡消火器 0本  
(イ) 粉末消火器 113本

## 9 国民保護対策事業

- (1) 7市2町危機管理事務連絡会議(乙訓消防組合消防本部) 5月
- (2) 京都府・京都市国民保護共同実動訓練(国立京都国際会館) 10月
- (3) 全国瞬時警報システム(J-ALERT)導入 2月

## 10 その他

- (1) 京都府自主防災組織等連絡会議 5月
- (2) 水害に強い地域づくり協議会 7月・11月・12月・1月・2月
- (3) 復興対策普及・啓発セミナー 10月